

今話題の

青谷上寺地遺跡について紹介します!

はじめまして! 僕、青谷上寺地遺跡に暮らしていた弥生人です。
 去年秋に現代に甦ったんだけど、その時、色んな人に「あの人に似てる!!」って言われて、ちょっと人気者になっちゃた。
 全国から公募して、「青谷上寺朗」っていう名前まで付けてもらったんだ。
 実は、僕の顔、出土した僕の頭蓋骨をもとにして、「復顔法」という解剖学や人類学の研究成果を使った方法で再現されてるんだ。このフツフツの髪の毛も、歯に残ってたDNA情報をもとに復元したんだ!
 僕、最先端の科学で甦えらせてもらったんだね。
 現代人さんと全く変わらない、古くフツの顔だと思わない?
 こんな僕の顔を通して、弥生時代を身近に感じてもらえるとうれいな♪

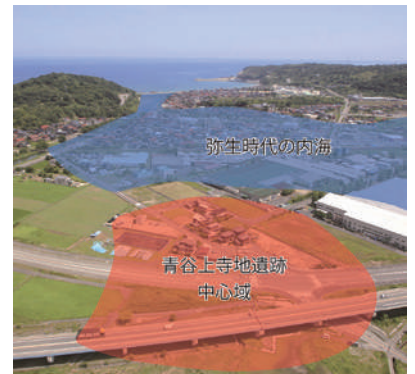
あお や かみ じ ろ う
青谷 上寺朗

展示ガイダンス施設の完成イメージ

令和5年秋に史跡公園がオープンします!

現在、弥生時代の地形を復元するための造成と、遺跡の紹介や出土品の展示を行う展示ガイダンス施設の建設を行っています。屋外の公園では、弥生時代の湿地や田んぼで水辺の生き物の観察や農耕の体験のほか、広場で遊ぶこともできます。展示ガイダンス施設では、国の重要文化財に指定されている貴重な出土品を鑑賞したり、青谷上寺地遺跡のことを楽しく学ぶことができます。完成をお楽しみに!

国史跡青谷上寺地遺跡は、鳥取市青谷町にある弥生時代前期（約2400年前）から古墳時代前期（約1700年前）に営まれていた集落の遺跡です。弥生時代には遺跡のすぐそばまで内海が入り込んでいて、天然の良港となっていました。この立地を生かして、青谷の人々は日本列島の各地や中国大陸・朝鮮半島と海を介した交易を行っていました。遺跡では優美で精巧な木製容器や緑色の石の管玉など、様々なものづくりが行われ、交易品として各地に運ばれていきました。海辺の集落らしく漁撈（魚や貝などを採取すること）が盛んだったことを物語る漁具も多数発見されています。



新発見に立ち会えるかも!? 発掘調査が見学できます!!

今年度からは人骨の出土が期待される重要な地点の発掘調査が始まります。調査期間中（9～11月予定）の平日は、毎日発掘現場を公開しています。

弥生時代の生活を生々しく語る出土品の数々

通常は腐ってしまう木製品や骨なども驚くほど良い状態で発見されたことから「地下の弥生博物館」と呼ばれています。出土品は青谷上寺地遺跡展示館（鳥取市青谷町青谷4064）のほか、当準備室の収蔵展示室でも見学（解説つき）できます。



1,353点が国の重要文化財に指定されています

問合せ先

鳥取県地域づくり推進部文化財局とっとり弥生の王国推進課
 青谷かみじち史跡公園準備室 ☎ 0857-85-5011、0857-85-1711
 鳥取市青谷町青谷667鳥取市青谷町総合支所2階



ホームページ



YouTube



twitter